

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和4年6月27日

釧路市議会議長 松永 征明 様

会派名 公明党議員団

代表者名 月田 光明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	月田 光明、秋田 慎一、河合 初恵、松原 慶子、松橋 尚文
出張先	名古屋市、京都市
期間	令和4年5月26日～令和4年5月28日（3日間）
用務	①帯状疱疹予防ワクチンの公費助成制度について ②京都市における不登校特例校の取り組みについて
調査（研修） 結果等の概要	別紙参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書（原本）とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

- 【調査項目】 带状疱疹予防ワクチン公費助成制度
【視察先】 愛知県名古屋市
【調査内容】
- 年間約60万人が罹患し、80歳までに約3人に1人が発病するといわれる带状疱疹。
発病から治癒するまでに3週間から1ヶ月を要し強い痛みがともなう。このうち約2割が、数ヶ月から数年にわたって辛い痛みが持続する带状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性がある。
 - ワクチンには2種類がある。
シングリックス（不活化ワクチン）は接種回数が2回で、1回の料金が21,600円。
ビケン（生ワクチン）の接種回数は1回で、料金は4,200円。
 - 名古屋市では、令和2年3月から公費助成制度を導入。
生涯に一度、2種類のワクチンどちらでも半額を助成している。
対象は、市内に住民票がある50歳以上の市民。
尚、市民税非課税世帯等の場合は、接種費用を免除。
他の任意ワクチン接種の助成に合わせて、助成率は50%とした。
 - 同助成制度は、全国で4番目であり政令指定都市では初。
現在、全国で33自治体が導入し、そのうち23自治体が2種類からの選択制を採用している。
 - ビケンの有効性（効果の持続）は、8年目で4.2%。
シングリックスのデータはないが、ビケンよりは長期と考えられている。
名古屋市においても、シングリックス接種の割合が急増している。
 - コロナワクチンと同様に、他のワクチン接種と2週間の間隔を空けてはならない。
名古屋市における接種済み者41,041人の中から副反応の報告はない。
 - 助成のための当初予算は、市民50歳以上人口の4%で計上。
不足が生じた場合は、補正で対応する。
今後、丁寧な周知を図ることで接種希望者が増加するものと考えている。



- 【調査項目】 不登校特例校と公立夜間中学
 【視察先】 京都府京都市（市立洛友中学校）
 【調査内容】
- 京都市立洛友中学校は、不登校特例校（昼間部）と公立夜間中学（夜間部）が併設された全国唯一の学校。
 旧郁文中学校の校舎を活用し、平成19年に開校した。
 - 現在、昼間部は15名、夜間部は19名の生徒が在籍。
 校長1名、教頭1名、教員10名、その他非常勤講師4人を含む15人の職員スタッフが配置されている。
 - 昼間部は1校時が13：40（学活が13：30）の始業、最終6校時の終業が18：15。
 夜間部は17：00に始業（5校時目）し、終業が20：25（8校時目）なので、5校時と6校時が交流学习や合同授業となっている。
 - 昼間部の授業時数は770時間（標準は1,015時間）
 校外活動、課外授業、美術の時間を重視し、ストレスを溜めない工夫配慮がなされている。
 生徒指導の根幹は「自尊感情を高める意図的な取組み」
 - 京都市の不登校発現率は4.34%（中学校）で全国平均以上。
 市内に2校の不登校特例校、適応指導教室「ふれあいの杜」（四条大宮学習室、伏見学習室他）5ヶ所を設置し、子どもたちの「学びたい」という願いに応えている。
 また、不登校経験者を受け入れる高校が2校（府立1校、市立1校）あって、中学校卒業後の進学選択肢が広がっている。
 - 洛友中学校卒業生の高校進学率はほぼ100%（多くは普通高校定時制）
 - 夜間部の開設以来、これまで14名の形式卒業者が入学し、近年は、形式卒業者の割合が増えてきている。
 令和2年度からは、京都市内で働いている方も入学要件に加えた。
 - 技能別に4クラス分けを行い、学習ニーズに合った授業を実施。
 給食も提供し、一定の所得階層には減免制度もある。
 - 学校評価アンケートでは、「夜（昼）間部の人と一緒に学んだり、活動することは楽しい」と回答した生徒が圧倒的に多く、また「洛友中学校に（転）入学して良かったと思う」と答えた生徒は、昼・夜ともにほぼ100%となっている。

